

インド・ボンド・オープン(毎月決算型)

インド地方選挙で圧勝したモディ首相、 経済改革へ一段の弾み

2017年3月14日

お伝えしたいポイント

- 幅広い層から支持を取り付けたモディ首相は地方議会選挙で圧勝
- 構造改革に一段の弾み
- 金融政策は中立。債券ポートフォリオは、スプレッド物を組み入れた高利回りポートフォリオが有効

注目の地方議会選挙はモディ陣営が勝利

3月11日(現地)にインド 5州(ウッタル・プラデシュ州、ウッタラカンド州、マニプール州、パンジャブ州、ゴア州)で行われてきた地方議会選挙の開票が行われ、モディ・インド首相率いるBJP(インド人民党)やその友党で組織されるNDA(国民民主同盟)は、ウッタル・プラデシュ州、ウッタラカンド州、マニプール州で大幅に議席数を増やしました。特にインド最大の人口を抱えるウッタル・プラデシュ州は”Heartland(心臓部)”と形容される州で、貧困層が相対的に多いこともあり、政治的に最も重要な州と位置づけられています。この州での圧勝はモディ首相の政策が幅広い層で支持されていることを証明したと言えるでしょう。このため、パンジャブ州とゴア州では議席を減らしたものの、地元メディアはモディ陣営の圧勝と伝えています。

▶▶ 地方議会選挙結果

州名	議席数	モディ陣営の議席数 (改選前比)
ウッタル・プラデシュ	403	325(+227)
パンジャブ	117	3(▲9)
ウッタラカンド	70	57(+26)
マニプール	60	21(+21)
ゴア	40	13(▲8)

(Daiwa Portfolio Advisory India 調べ)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

構造改革のスピードと実現可能性を高めたモディ陣営の勝利

インドの地方議会選挙は、結果に応じて国会 上院議席数を各政党に割り当てる間接選挙の役割も果たしています。BJPを中心としたNDAは下院では過半数を掌握していますが、上院はそうではありません（総議席数245に対し、NDAは74議席）。国会がねじれ構造にあるため、上院の可決を必要とする法案は進みづらくなっており、モディ首相の掲げる構造改革の障害となっています。しかし今回の選挙結果を受けて、今後NDAが上院での勢力を拡大させることは確実視され、モディ首相が進める構造改革のスピードと実現可能性が高まったとみています。なお、実際の改選は上院議員の任期満了などに伴って行われるため、今回の選挙結果が議席数に反映されるには今しばらく時間がかかります。

当ファンドの運用について

当ファンドでは、主としてインド・ルピー建て債券を中心に、一部米ドル建て債券にも投資しています（米ドル建て債券は為替リスクを米ドルからインド・ルピーへ転換しています）。現時点のインド・ルピー建て債券のポートフォリオは、国債をメインに政府機関債や事業債を組み入れ、運用しています。インドでは利下げサイクルが終了し、中央銀行の政策スタンスも中立化したため金利の動きは安定性が増すと判断し、積極的なデュレーション戦略よりは、ポートフォリオの利回りを高めた戦略が有効であると考えています。

以上

収益分配金に関する留意事項

- ◆ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払されると、その金額相当分、基準価額は下がります。

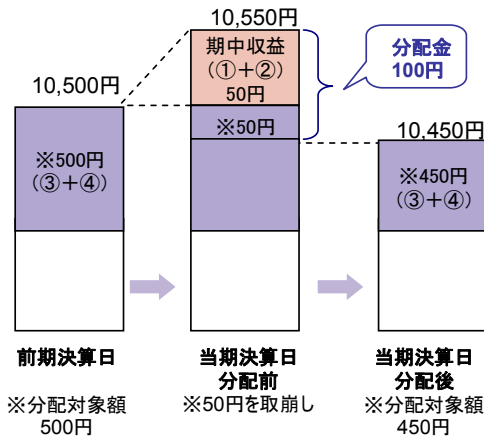
投資信託で分配金が支払われるイメージ



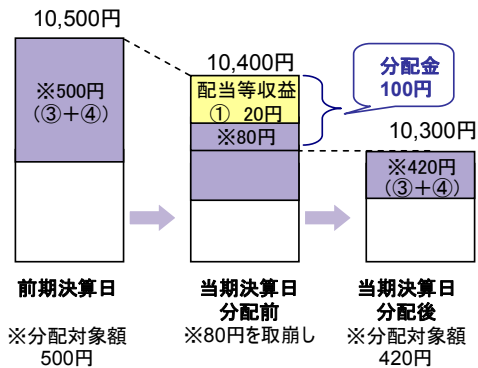
- ◆ 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算日から基準価額が上昇した場合



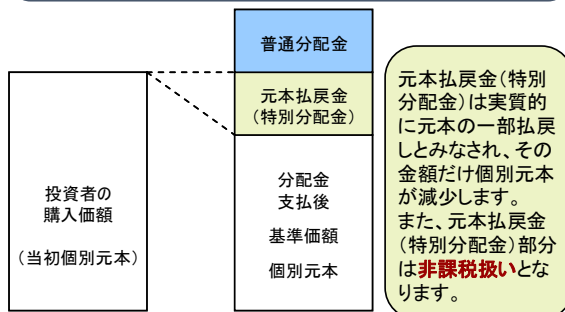
前期決算日から基準価額が下落した場合



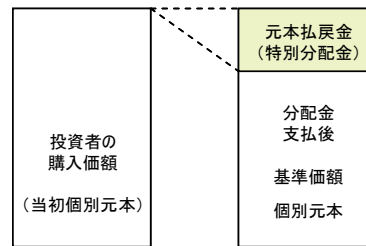
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

- ◆ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の(特別分配金)額だけ減少します。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

インド・ボンド・オープン(毎月決算型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

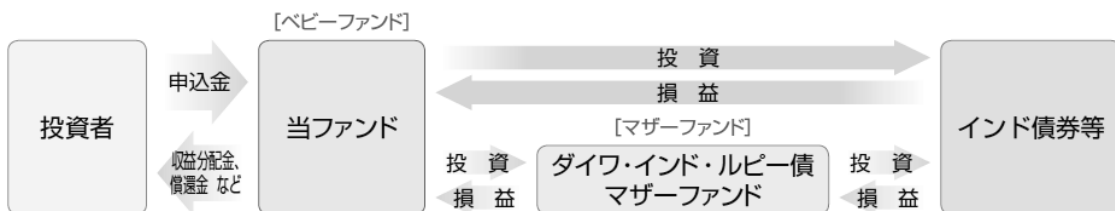
- インド債券等に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. インド債券等に投資します。
 - ◆インド債券等とは以下の債券をいいます。
 - ①インド・ルピー建ての債券
 - ②インド・ルピー以外の通貨建ての債券のうち、次のもの
 - ・インドの政府、政府関係機関および企業が発行する債券
 - ・国際機関等が発行する債券

※インドの企業とは、インド国内に本社を置いている企業等、委託会社がインドの企業であると判断した企業とします。
 ※国際機関等が発行する債券への投資割合は、投資枠の獲得状況等によって高くなる場合があります。
 - ◆インド・ルピー以外の通貨建ての債券に投資する場合、原則として、為替予約取引および NDF 取引（直物が替先渡取引）等を活用し、実質的にインド・ルピー建てとなるように為替取引を行いません。
 - ・NDF 取引とは、為替取引を行なう場合に利用する直物が替先渡取引の一種で、当該国の通貨を用いた受渡しは行なわず、米ドルまたはその他の主要な通貨によって差金決済する取引をいいます。
 - ◆金利や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。
 - ◆インド債券等の運用にあたっては、ダイワ・ポートフォリオ・アドバイザー（インド）プライベート・リミテッドおよび SBI Funds Management Private Limited の助言を受けます。
2. 毎月 12 日（休業日の場合翌営業日）に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行いません。
3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



- ・当ファンドは、インド債券等に直接投資することにより運用を行いません。また、マザーファンドを通じて投資を行なう場合があります。
- ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※NDF 取引を行なう場合、コストは需給や規制等の影響により、金利差から期待される水準と大きく異なる場合があります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●インド債券投資に関する留意点

※インド国外の機関投資家がインド国内市場の債券に投資を行なう場合、外国機関投資家（FPI：Foreign Portfolio Investors）制度の資格の取得に加え、入札による投資枠の獲得が必要となる場合があります。

※インドにおける外国機関投資家（FPI）制度の資格の取得および投資枠の取扱いについては今後変更となる可能性があります。

※インド・ルピー建ての債券への投資においては、ファンドが債券への投資によって得た収益に対して課税され、基準価額が影響を受ける場合があります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

インド・ボンド・オープン(毎月決算型)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.4472% (税抜 1.34%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支弁します。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※インド・ルピー建ての債券への投資においては、ファンドが債券への投資によって得た収益に対して課税されます。上記は平成28年11月末現在、委託会社が確認できる情報に基づくものであり、現地の税制が変更された場合等には、変更になる場合があります。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等

大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

<ご参考> 当社のインド関連リサーチ

マーケットレター

高成長を確認したインド ～モディ首相のリーダーシップ下で、着実に進む構造改革と成長戦略～（2017年3月2日）

http://www.daiwa-am.co.jp/system/files/report/report_タイムリーレポート_20170302_67513.pdf

インド政府が予算案を発表 ～息の長い成長を目指す～（2017年2月3日）

http://www.daiwa-am.co.jp/system/files/report/report_タイムリーレポート_20170203_66304.pdf

動画

インド債券市場 ～2017年も良好なパフォーマンスが期待できるインド債券投資～（2017年1月16日）

<http://www.daiwa-am.co.jp/guide/movie/popup/mov16.html>

インド・ボンド・オープン（毎月決算型） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
日の出証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第31号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。